

1 単元 町にははっけんがいっぱい

2 教科の目標

夏の町の自然や暮らしの変化に気付き，春の町との違いを比べながら発表したり聞いたりすることで，より多くのことに気付くことができるようにする。

3 活用したICT

デジタルカメラ プレゼンテーションソフト 電子黒板

4 活用したICTの特性

- ・ 学区探検で気付いたものを映像として記録しておくことで，時間が経過してからも振り返ることができる。(デジタルカメラ)
- ・ 2枚の写真を同時に映し出すことで，春と夏休み後の町の違いを比較して発表することができる。(プレゼンテーションソフト)
- ・ プレゼンテーションソフトで作った画面を映し，書き込みを加えることで，子どもにより多くのことを気付かせることができる。(電子黒板)

5 実践の様子

探検終了後，撮ってきた写真と春に見た写真の2枚の写真をプレゼンテーションソフトを活用し，同時に映し出し(資料①)その画面を使って町の様子の違いを発表することを伝えた。

見るポイントを決めて出かけたことで，探検中から違いに気付くことができている児童もいた。

発表は，電子黒板を使用して春と夏の町の違いにポイントを絞って発表することとした。(資料②)聞き手は，目的を持って聞くことができるよう，発表を聞いて分かったことをワークシートに記録した。

春と夏の町の映像を比較して発表することで，聞き手はより多くの違いに気付くことができた。



資料①児童が作ったスライド



資料②春と夏の変化発表する児童

6 成果と課題

- 探検中の様子を映像で継続して記録したことで振り返り活動でも探検中の様子が思い出しやすく，意欲を継続することができた。
- 春と夏の写真をプレゼンテーションソフトを利用して，比較した画面を作ったことで，振り返り活動の場で自分の気付きを明確にできた。
- 発表の際，自分の気付いた春と夏の町の変化を電子黒板を利用して変化のポイントを書き込み発表したことで，分かりやすい発表につながり，発表者，聞き手にとってもより多くのことに気付くことができた。
- 情報機器を使ったことで，振り返り活動は充実したが，発表までに時間がかかり過ぎてしまった。